

大分から全国へ
そして世界へ
全力発信！



大分朝日放送株式会社
代表取締役社長 上野輝幸

JIMOTTO!OAB

大分県の概要と民間放送

◎人口 116万人(全国33位)

◎民間放送局

- ・ 大分放送 (開局67年)
- ・ テレビ大分 (開局46年)
- ・ 大分朝日放送 (開局23年)

デジタル化の重荷（2010年）

設備投資、番組制作、社員採用は極力抑制

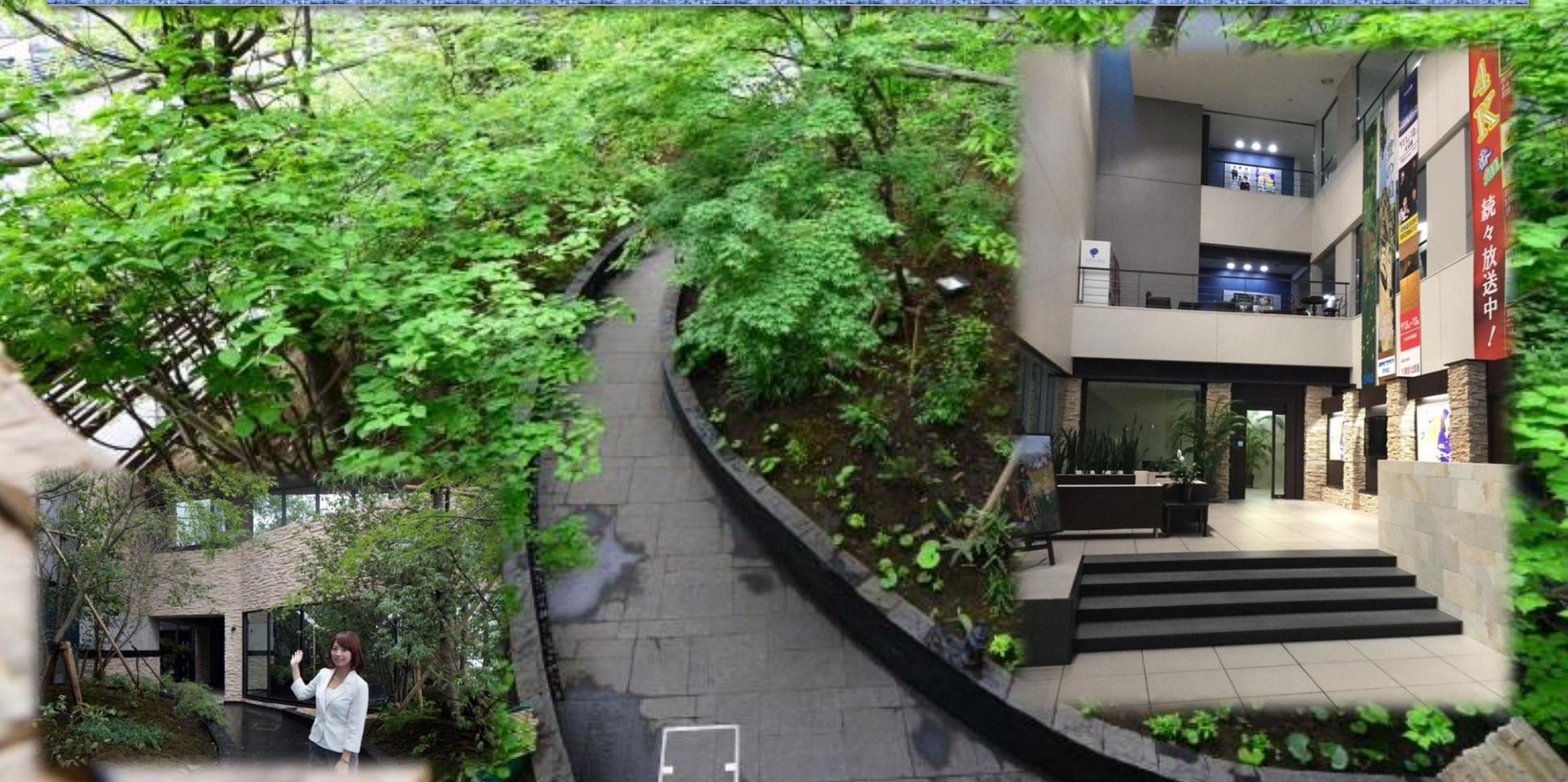


売上げ、局イメージは最下位



平成新局というマイナー意識が浸透

イメージアップとブランディング I 大分山野のアプローチ&ロビー



イメージアップとブランディング Ⅱ 季節を感じる野外型スタジオ



情報番組



Garden Studio Five

イメージアップとブランディング Ⅲ NASA司令室の報道センター



イメージアップとブランディング IV 海が見える災害スタジオ



「IPad」と意識改革



「IPad」全従業員へ140台配布



差別の撤廃とIT機器を駆使する優越感



働き方改革・業務の効率化・情報開示



ペーパーレス化・放送への反映



民間放送で初の4Kシステム導入 ①

4K8Kが話題(2014年秋)



導入費用はシステムで2500万円



地方局でも十分対応可能



民間放送で初の4Kシステム導入 ②

4K番組の制作と蓄積



司馬遼太郎の世界



自社制作
「街道をゆく」シリーズ



GENKIfull!
KYUSHU

総務省
「海外展開事業」



BS朝日
「新日本風景遺産」

新
にほん
風景
遺産



豊の国をゆく

4Kレギュラー番組
週一2016年6月開始



民間放送で初の4Kシステム導入 ③ 「地方局は2番ではダメ」

異次元のカプセルホテル風「編集センター」

全国から視察団・従業員のモラルアップ

HDR方式で2制作システムに増強

民間放送で初の4Kシステム導入 ④ 「4Kマルチユース」

- I 地上波での放送(2K)
- II 海外展開事業・海外イベントでの活用
- III TIFFCOMなどでの4Kソフト販売
- IV BS・CSでの放送
- V ケーブルテレビ・ネットでの展開

「地方局の挑戦と未来戦略」

- I 中央集権から地方の時代へ
- II 地方局のメリット（組織・小回り・意思決定）
- III 戦略的な経営（4K、海外展開事業）
- IV 地上波テレビのメディアカ
- V 従業員の意識改革
- VI 地方局として全国発信

大分朝日放送の経営状況

経営内容一覧(2012年度～2016年度まで)

(単位:百万円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度 (見通し)
売上高	4,005	4,073	4,114	4,368	4,276	4,450
営業利益	252	306	370	426	419	430
経常利益	271	310	388	442	453	445
純利益	87	150	197	250	280	275
経常利益率	6.8%	7.6%	9.4%	10.1%	10.6%	10%
借入金	276	224	207	168	179	91
減価償却費	471	495	391	318	311	310
現預金	1,263	1,395	2,074	2,284	2,807	3,240

小さな声とどけます OAB

ご清聴ありがとうございました

大分朝日放送株式会社

代表取締役社長 上野輝幸

JIMOTTO!OAB